

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

村落共同体から脱する 川村 隆 (日立製作所名誉相談役)

1. 日立は 2009 年 3 月期に製造業で最大となる 7873 億円の連結最終赤字を計上。当時、子会社の会長として経営の一線から身を引いていた川村隆氏を本体に呼び戻し、再建を託した。

川村 「日立のコアコンピタンスは何かを話した。その結果、日立の筋肉や骨は社会インフラ事業である。でも筋肉や骨だけじゃだめで、脳神経系が必要。つまり情報通信システムは不可欠。一方、テレビなどのデジタル機器は、日立が本当に得意とする領域ではないと結論付けた。事業整理には反発もあったが、それを許していると会社が潰れる。会社を直すときにはポートフォリオの変更は必須。どんなにしんどくてもそれをやるのがトップの仕事だと思った。

2. 川村「結局、日本企業の多くは村落共同体だ。村落共同体は村長がみんなの意見を聞いて、真ん中を落としどころにする。先人が築いた事業だから様子を見ようとか、ただむにしても一部にとどめようとかする。だから会社は機能体でなければならない。機能体のトップは老化した事業を見極めて迅速にたたみ、そこで人材と金を使って成長分野に振り向けるのが役目。平均値を追い求めているようではできない」

(参考:「日経ビジネス」2016 年 8 月 1 日号)

経営者のための人間学

後ろ姿のよい人こそが本物

伊與田 覺 (論語普及会学監)

- 人間の魅力というのは実に不思議なもので、決して意図してつくられるものではありません。しかし、その人の心掛けによって内面が充実してくると、自ずと外ににじみ出てくるものであるようです。魅力は顔や動作にも表れますが、最も端的に表われるのが背中です。後ろというのは意識外のものです。いくらお化粧をして自分を取りつくっても背中だけは誤魔化すわけにはいきません。後ろ姿のよい人、それこそが本物といえましょう。
- 人間には、何遍会っても顔を思い出せないような人がいる一方で、ことさらに言葉や動作を弄することがなくても、その人がそこにいるだけでちゃんと周囲が立派に治まっていくような人があります。孔子という人は、そういう人間的魅力が横溢おういつしていた人であったようです。

(参考:「致知」:2016 年 10 月号)

ワンポイント経営アドバイス

歴史に学び危機に対応する

出口 治明 (ライフネット生命保険会長)

- ビジネスパーソンが歴史を学ぶ意義はどこにあるのでしょうか。

出口:例えば、リーマンショックや東日本大震災のような未曾有の危機が起ったとします。その際に、過去の経済危機や地震のときに何が起こったのかを歴史を学んで知っている人と知らない人、どちらが対応できると思いますか?

- それは、やはり、歴史を学んでいる人ですね。

出口:歴史を学ぶことはそういうことなのです。ドイツの政治家ビスマルクの有名な言葉に「賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶ」というのがあります。人間の経験は、たかだか数十年しかないわけです。でも、歴史は文字として残っているだけでも 5500 年もある。その間に、経済危機や天災は何度も起こっています。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2016 年 7 月 16 日号)

古典に学ぶ

勇気とは正しい事をする事

(解説) 勇気は、義のためにふるわれるのでなければ、ほとんど美德の中にかぞえる値打ちがあるとは考えられなかった。「論語」の中で孔子は、彼のいつもの習わしに従い、勇気を、その否定が何かを説明して定義している。「義を見てなさはるは勇なきなり」。この警句を積極的に言いかえてみると「勇気とは正しい事をする事である」となる。

(参考:佐藤全弘(訳)新渡戸稲造著「武士道」:教文館)